

彩小ふれあいだより

平成22年10月22日

1年生「なかよくなろうの会」～河内保育園との交流

広島市立彩が丘小学校
校長 竹川 智子

みんなでもみくちゃんになってのジャンケン列車



紅葉も色づくせせらぎ公園で、10月21日(月)10時からの約1時間、彩が丘小1年生43名と河内保育園年長組園児40名が交流会「なかよくなろうの会」をもちました。平成17年度より広島市では保幼小連携推進事業がスタートしました。具体的には、各小学校区において、小学校へのなめらかな接続を図り、小一プロブレムを解消するために、幼保小の教職員が連携し、互いの参観や連絡会を持ち合っています。子どもたちの交流会もその一つです。昨年は新型インフルエンザでやむなく中止しましたが、河内保育園との交流会をさせていただいています。

あお組さんたちは、河内保育園からの道のりを約40分かけて歩いてきました。学校からも校長、教頭、井上学校安全指導員、楨原先生が道中の安全確保のために加わりました。あお組さんたちはいつもお散歩をしているようで、とてもしっかりした足取りです。友だちと手をつなぎ、列をきちんと守って、元気いっぱい園からせせらぎ公園までを往復しました。

せせらぎ公園に到着。すでに1年生が到着を今か今かと待っていました。あいさつをして、すぐにペアのお友だちを見つけました。1年生は、前もってペアになるあお組のお友だちを決めてもらっており、ちゃんと覚えていました。すぐにジャンケン列車を開始、それから学校クイズ、ドングリ工作(ブローチとこま作り)をしました。1年生が、司会をしたり、ゲームの説明やクイズの出題をしたり、1年生が進めました。保育園の先生がたは半年の成長ぶりにびっくりされていました。

1年生は事前に年長組さんとの交流会を準備してきました。一人ずつに一人一人の名前をいれたペンダントもつくりました。学校クイズで問題を出す役、解答を出す役、はじめの言葉や終わりの言葉を言う役など、役割も受け持ちました。交流会を通して、1年生はお兄さんお姉さんになる自覚をもつことができたでしょう。あお組さんは、小学校への期待をもってくれたことでしょう。

